

2 課外活動

(1)サークルへの加入

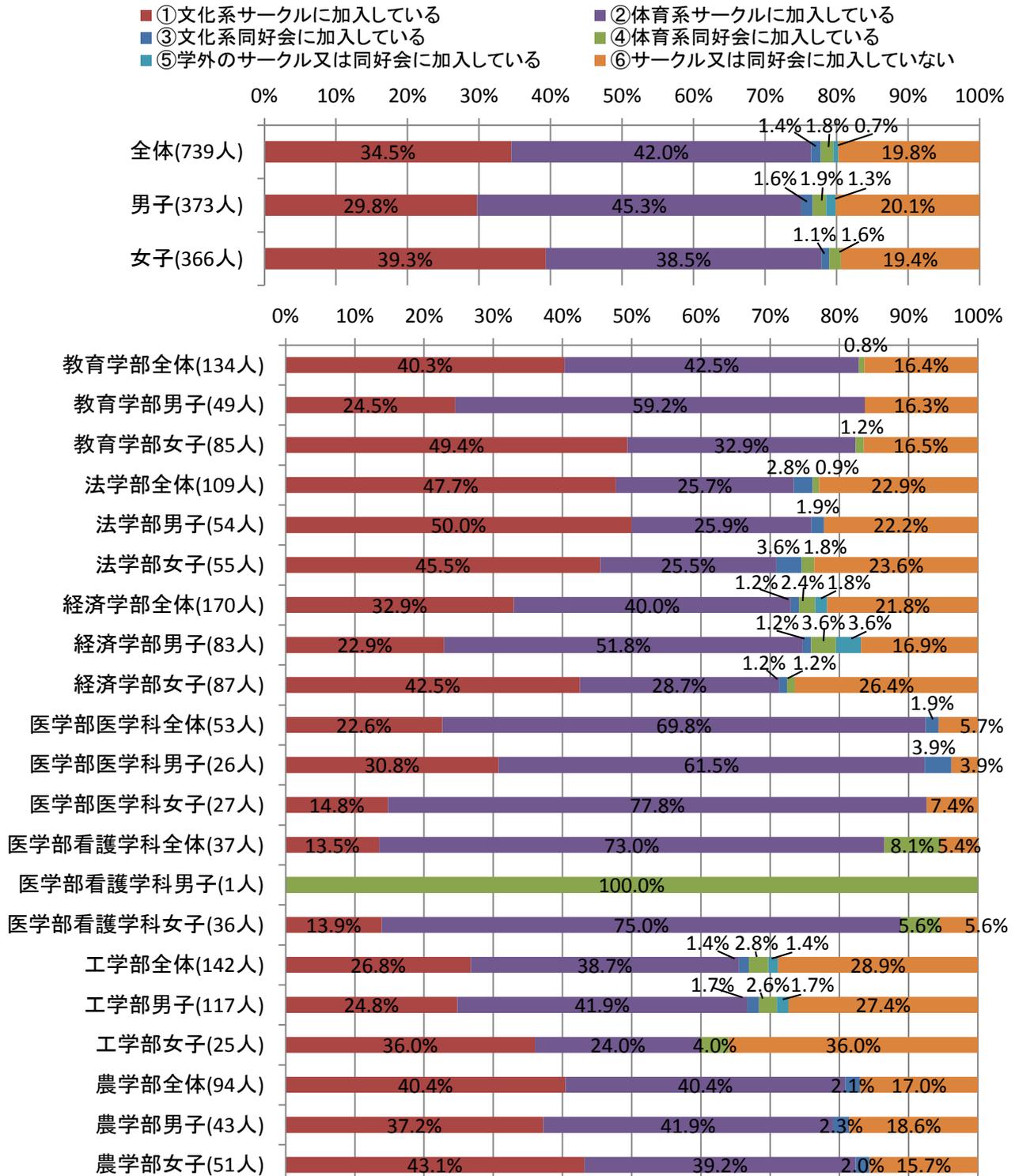
問29 あなたはサークル又は同好会に加入していますか。

・サークル活動への加入割合は男女共に高く、約80%の学生が何らかのサークル・同好会に加入しています。なおサークル以外の同好会に参加する学生は男女共に極めて少なくなっており、参加する限りは大会参加などを旨とするサークルを選んでいる可能性があります。

・平成27年度調査との比較では男女共に体育系サークルに参加する学生がやや増加し、文化系サークルに参加する学生がやや減少しています。

・性別による比較から、男子では体育系サークルに所属する学生が多い一方、女子では文化系・体育系サークルに所属する学生の割合が拮抗していることが分かります。

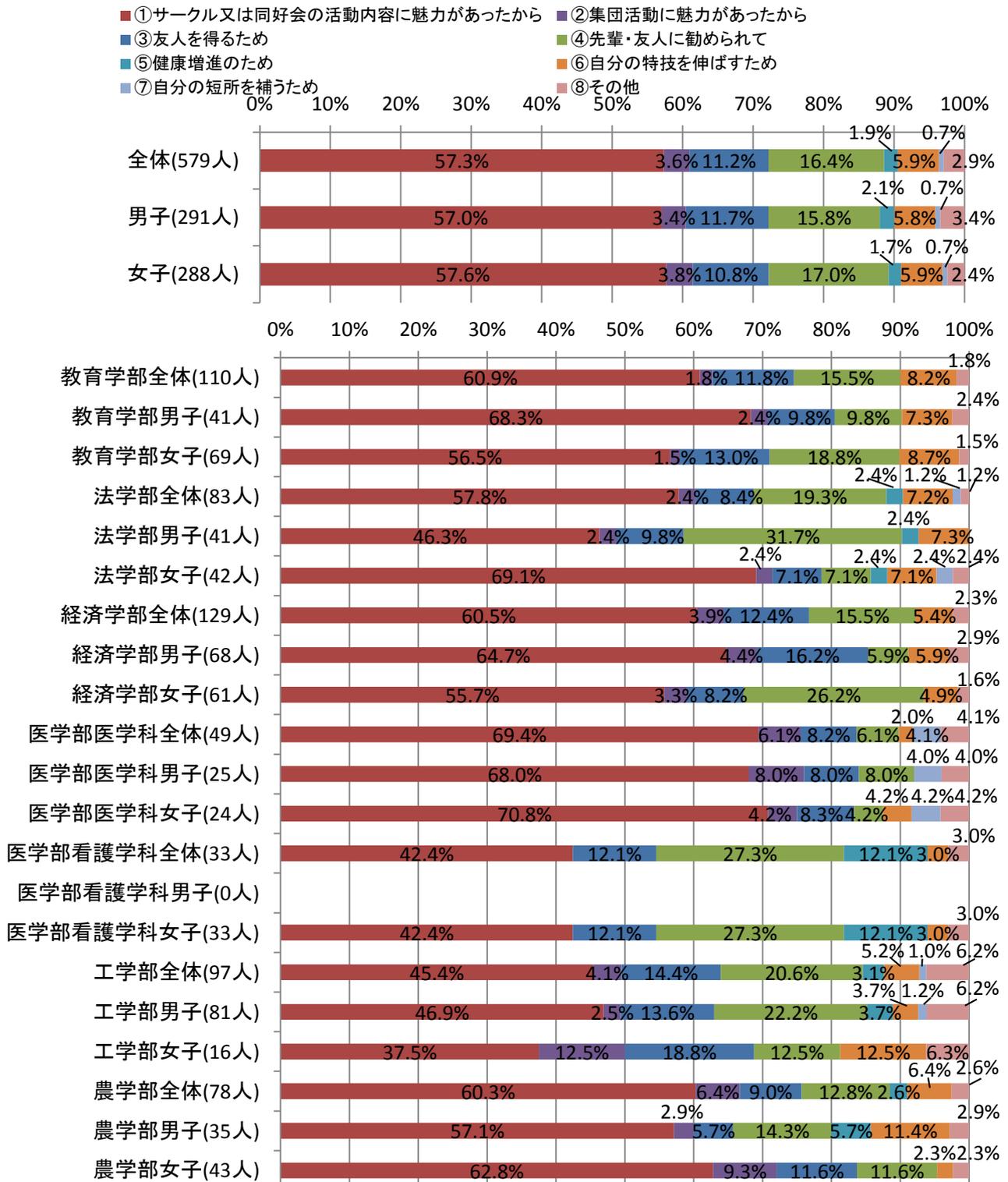
・また学部別のグラフからは医学部において体育系サークルへの参加割合の高さが窺えます。



(2)サークル加入の動機

問30から問32まで、現在、サークル又は同好会に加入していると回答した方におたずねします。
問30 加入した動機は何ですか、次のうちから一つ選んで教えてください。

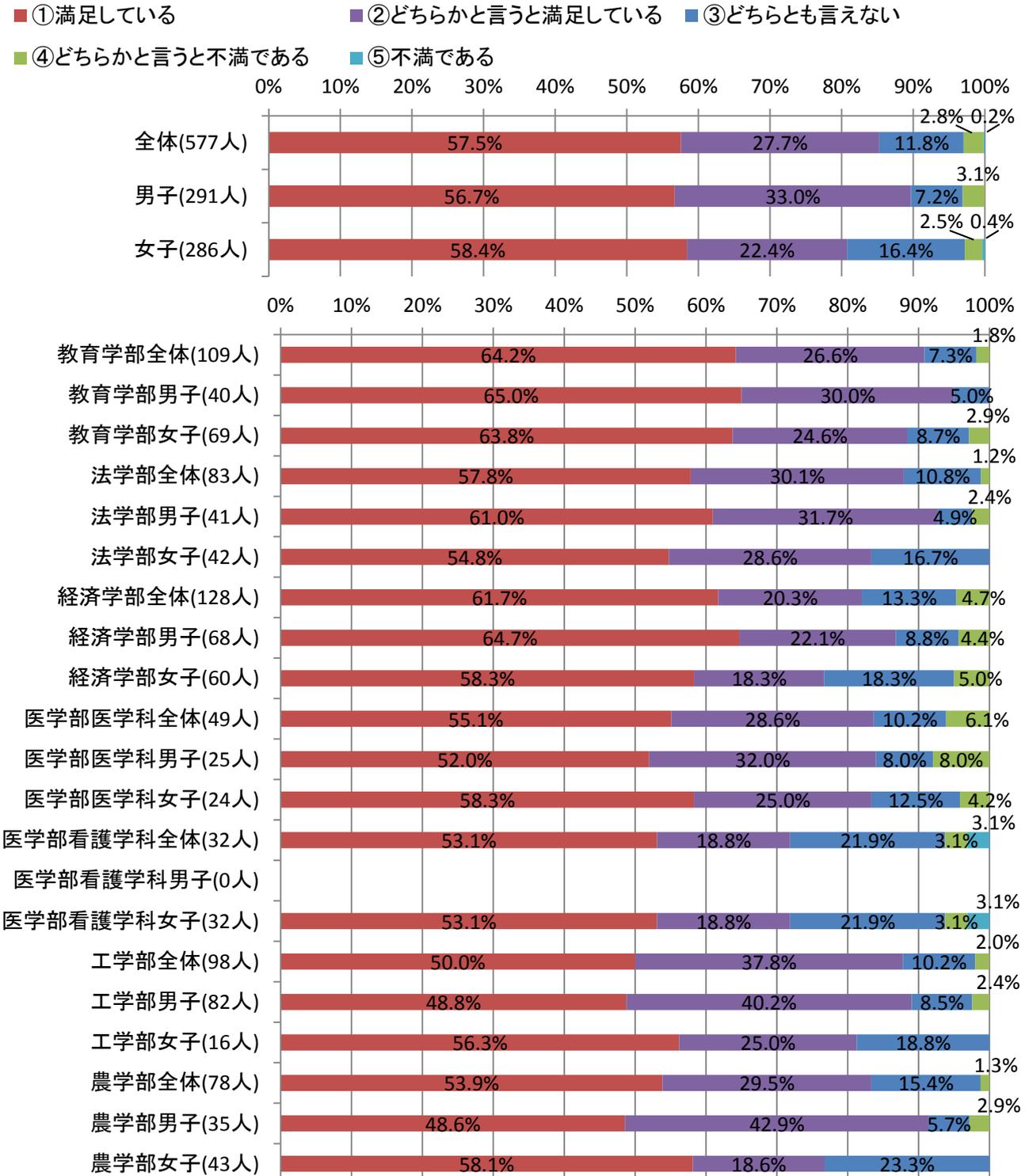
・サークル・同好会への参加動機は、活動内容への興味が半数以上を占め、次いで先輩・友人の推薦、友人を得るためといった理由が続いています。平成27年度よりも活動内容への興味が5%以上増えており、SNSなどを通じて活動内容を知る機会が増えている可能性があります。
・医学部看護学科及び工学部に顕著ですが、活動内容への興味の割合が他よりも少なくなっています。活動内容に基づいてサークル・同好会を選択するよりも、とにかく何らかのサークル・同好会に入ろうといった雰囲気がある学部・学科があるのかも知れません。



(3)サークルの感想

問31 サークル又は同好会に参加してどのような感想を持っていますか。

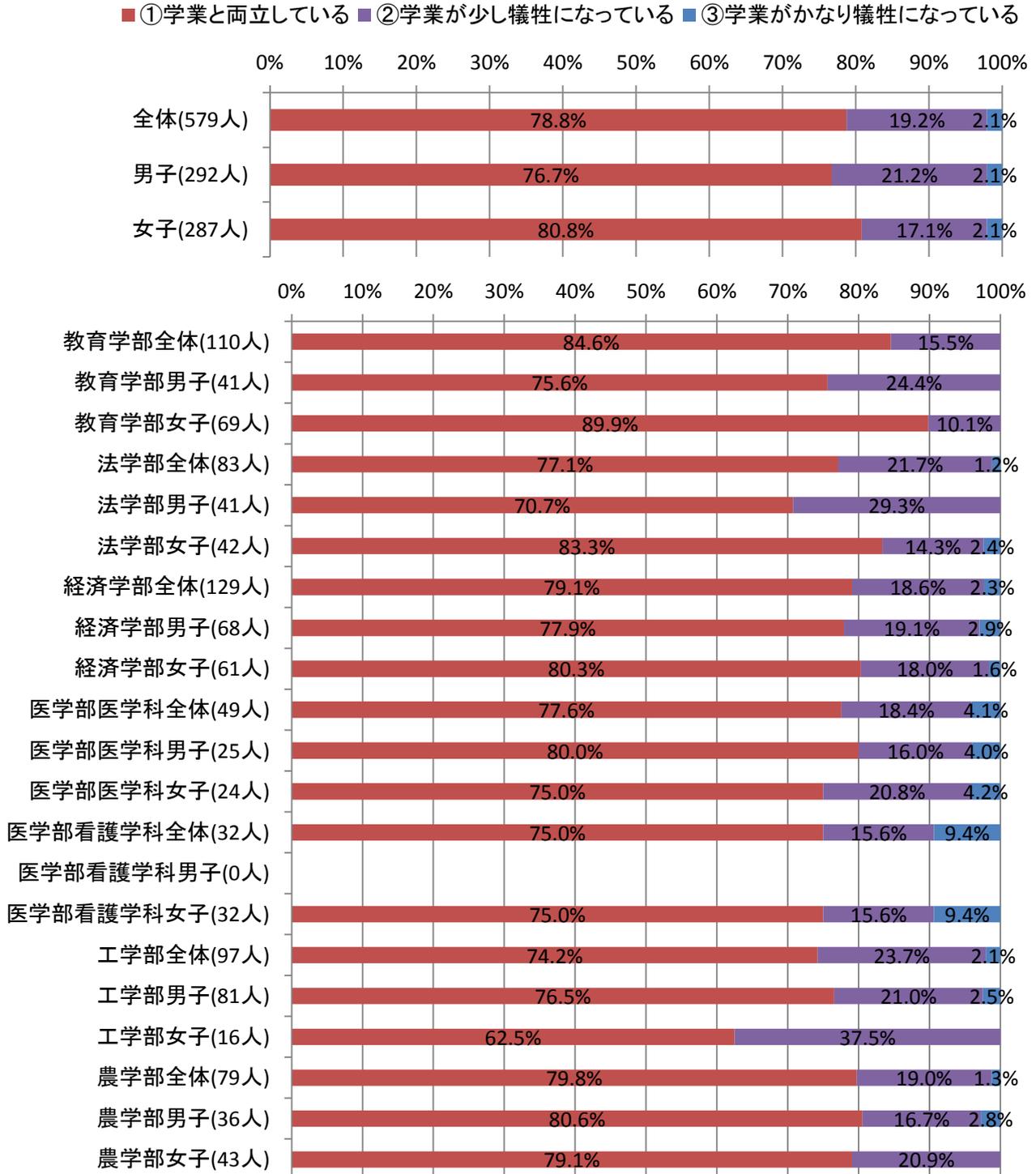
・「満足している」、「どちらかと言うと満足している」と回答した学生の割合が男女共に80%を越えており、サークル・同好会活動に対する満足感は総じて高いと言えます。
 ・学部間の結果に特に大きな差は見当たらず、サークル・同好会活動に不満を持つ学生の割合には学部による差はあまりないと言えそうです。



(4) 学業との両立

問32 あなたはサークル又は同好会の活動と学業を両立していますか。

全体の約80%の学生がサークルと学業を両立していると回答していました。ただし男子では80%を少し下回っており、女子よりも学業に支障が出ていると考えている割合が高いようです。また非常に少数ではあるものの、学業がかなり支障になっていると回答した学生も男女共に認められました。なお教育学部の女子学生において、学業と両立できていると考えている割合が高かったものの、その他に学部による差異は特に認められませんでした。



(5)サークルに加入しない理由

問33 あなたがサークル又は同好会に加入していない理由は何ですか。

全体のデータからは、魅力的なサークルがない、個人の自由の束縛、時間的余裕がないの順番で、サークル・同好会に加入しない理由の割合が高くなっていることが分かります。平成27年度もこの3つの理由で全体の80%を越えていました。なおサークル・同好会に参加していない学生の実数が少なく、解釈を誤る可能性が少なくないことから、各学部ごとのデータの分析については差し控えます。

